

渡邊政太郎 わたなべ まさたろう 社会主義・無政府主義運動家。明治六年七月十七日山梨縣中巨摩郡敷島村生れ、大正七年五月十七日歿（二八七三—一九二八）。號北風。小學校を卒へて理髪業の徒弟を始の職を轉々、キリスト者となる。静岡で「平民派」と稱した理髪店を営み、社会主義傳道に従事。明治二十年上京、翌年片山潜、安部磯雄等の社会主義研究会（のうち社会主義協會）に加はる。四十年「東京社会新聞」の編輯より、翌年廢刊式を主催。大逆事件後、キリスト教社会主義からアナキズムに轉じ、アナキズム研究会（のうち北風會）の中心となり、主義の宣傳、同志の育成に盡力。大正二年福田狂二と共に上海に渡り、革命軍に投じて司令部附佐官待遇となるも、駐在領事より在留禁止処分を受け歸國。翌年雑誌「徹光」を創刊、また「近代思想」同人、六年には堺利彦の出てゐた「新社会」の共同經營者の一人となつた。

多田茂治著「大正アナキストの夢—渡邊政太郎とその時代」（平成四年二月）一七七頁上筆社）に記される。